

令和 6 年度水産審議会 栽培・養殖・流通部会の概要

開催日：令和 7 年 3 月 5 日（水）10：00～12：00

出席者数：出席委員 6 名（委員数 10 名）

1 協議事項

（1）令和 6 年度種苗生産結果及び令和 7 年度種苗生産等計画（案）について

県栽培漁業センターの令和 6 年度種苗生産結果及び令和 7 年度種苗生産等計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。概要は以下のとおり。

- ・令和 6 年度の種苗生産実績は、ヒラメとタケノコメバル以外は当初計画数量以上であった。
 - ・他県との種苗交換は、例年の岡山県と広島県に以外に、あらたに香川県のヒラメ 150 千尾と大阪府のキジハタ 30 千尾の交換を実施した。
 - ・令和 6 年度重要稚仔放流事業（海面）では、例年どおりの放流を実施した。
 - ・令和 7 年度種苗生産計画（案）については、各魚種への要望等を考慮し資料のとおり作成した。
 - ・単価設定については、例年と変更はない。
 - ・放流用クルマエビ種苗単価基準について、令和 8 年度以降の変更に向けて令和 7 年度から検討を開始する。
- 委員からは、「カキの種苗交換はできないのか、3 倍体カキの研究をしてもらえないか」等の意見があった。

（2）令和 7 年度魚類養殖にかかる対応策（案）について

魚種別養殖状況、ハマチの出荷状況、3 年ハマチの試験養殖結果等から検討した令和 7 年度の魚類養殖に係る対応策について説明し、原案のとおり承認された。

- 委員からは、「餌料価格が高騰しているので、県や国の補助がもっとあればありがたい」、「オリーブハマチは 9 月出荷にあわせてキャンペーンを打っているが、9 月は高水温によるへい死リスクがあり、また、今年は正月に品物が足りなかった。売れる時期に魚があるよう、販売を遅くしてはどうか」等の意見があった。

（3）令和 6 年度藻類養殖事業結果及び令和 7 年度藻類養殖事業計画（案）について

令和 6 年度藻類養殖事業結果及び令和 7 年度藻類養殖事業計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。

- 委員からは、「クロダイとアカエイはどのような加工をするのか」、「ノリの色落ち対策としての陸上施肥について、他県の理解の状況や、規制はないのか」等の意見があった。

2 報告事項

(1) 香川県水産業基本計画の進行管理について

令和 3 年に策定された「香川県水産業基本計画」の展開方向のうち、「1. 魅力ある養殖水産物作り」、「2. 地魚の供給強化」、「3. 地魚の供給強化戦略的な販売・消費拡大」、について、令和 6 年度の実績と成果、次年度以降の実績と課題について報告した。

■委員からは、「水産物の消費量は金額ベースでは増えていても、重量ベースでは減っているのではないか」、「飲食店は県外からの旅行者やインバウンドがほとんどである」等の意見があった。

3 その他について

「三倍体種苗を用いたカキ養殖について」現状報告を行った。